

文芸 さくらがわ

俳句

〔天和俳句愛好会〕

梅ふふむ庭にひとりのお茶ふふむ

田中はついで

この齢で嫁ぐ夢見し四月馬鹿

古橋 益子

春点し闇のふくらむ峡の里

鈴木 つぎ

春の土老の杵柄と鍬振う

皆川 和子

命綱つける庭師に日脚伸ぶ

安達 幸子

春風や復興兆す蔵の町

岩瀬 のぶ子

水の辺に風と遊ぶよ猫やなぎ

田代 てい子

米寿来て今も夢あり春菜まく

代田 とし



短歌

〔花の室 木崎集〕

疲れたる眼に星を見上げたり千のすばるは満天に充つ

塚田 沙玲

昨日よりも伸びている草ひきぬけぬおまえのように根を張り生きたし

石浜 今日子

胸元に和布のブローチふるふると雛との出会いに歩く街角

大久保 まさ子

蔵の街漫ろ歩けば古代びな つるし飾りは軒にゆらぎて

櫻井 ハル子

虎落笛聞きつつ守りしスイカ畑悴む指に息ふきかけて

塩谷 明子

暖かくなつたら行くねと約束のいまだ果せず春のめぐり来

鈴木 とみ

ひなまつり明日に来る友数人で食べようたらやの小倉羊かん

塚本 幸子

一夜明け心静かになりしころ昨日の出来ごと日記にしるす

西岡 和子

雛人形訪ね歩める人らみな若やぎてをりしぐるる町に

野村 幸男

書きたむる思ひあなたに届けたしあなたの国への切手をもとむ

深谷 快子

〔岩瀬短歌会〕

街川のゆるき流れに棲む鯉の胴太ぶとと秋の陽の中

広沢 日出子

はるかの日友等と歩みし巡礼を深く思ひて初護摩をたく

山田 しげの

カーテンを開ければ松とはるかなる山の紅葉は絵画の一幅

飯田 良江

二十日前吟詠の稽古はつらつと吟じたる友の訃報に息呑む

石田 守子

着脹れて見守りに立つ我へ児等朝のあいさつ声のすがやか

大久保 富美江

雪しまき忽ちにして銀世界再々聞こえる雪折れの音

滝井 幸子

ひたすらに働きし母の思はれる歳晩に聴くヨイトマケの歌

古賀 澄

静かなる産院の昼あたたかし甘き匂ひのほのぼのとして

萩原 きのの

吊革にとどかぬ老女前に見て高校生見合ひてふたり立ちたり

片岡 喜知子

【岩瀬秋歌会】
亡き母の齢に近づくと春となり白玉椿やはき陽を浴ぶ

大関 節子

あたらしき雛飾りする家古りてふるき雛が街ににぎはふ

安達 悦子

商いに嫁ぐ日吾に「笑顔でね」と母との生活思い深しも

安達 すみ子

とし重ねうれしき侘しき胸に抱き運命られたる我が道をゆく

角田 玉枝

蠟梅の香り豊けく万作も花は真盛り春さきかけて

坪井 ゆき子

ほんのりと山肌白く初春の日に露の臺摘む野辺のなだりに

長谷川 玲子

山の端に残照あはく暮れなつむ仰ぐみ空にはや星光一つ

石川 喜代

広報 さくらがわ 有料広告 募集中!

- サイズ 1 枠 45mm×85mm、2 枠 45mm×172mm
 - 掲載料 (月額) 1 枠 10,000 円、2 枠 20,000 円
- ※連続掲載で割引制度があります。

■問合せ先 秘書広報課 ☎58-5111-75-3111、内線1268

広報 さくらがわ 有料広告 募集中!

- サイズ 1 枠 45mm×85mm、2 枠 45mm×172mm
 - 掲載料 (月額) 1 枠 10,000 円、2 枠 20,000 円
- ※連続掲載で割引制度があります。

■問合せ先 秘書広報課 ☎58-5111-75-3111、内線1268